

第 126 号

2017年3月

# ラルーラ通信

＜発行＞

中部学院大学  
子ども家庭支援センター  
〒504-0837 岐阜県  
各務原市那加甥田町30-1  
Tel.058-375-3605  
fax058-375-3609



## おすすめの一冊 「わたしはひろがる」

中部学院大学教育学部子ども教育学科  
林 茂 男

保護者を含めて子育てにかかわる大人の皆さんは、子どもに本を与えるとき、あるいは読んで聞かせるとき、どんな思いや基準で選んでおられるのでしょうか。今回は、家庭に一冊あるとよいと思う本を紹介いたします。ご存知の方も多くいらっしゃると思いますが、本の題名は『わたしはひろがる』です。この本は、教育者であり児童文学者でもあった岸武雄先生の作品です。岸先生は、岐阜県内の小学校の教員(主事)として子どもたちとかかわることを通して多くの作品を執筆されました。この作品もその一つです。児童文学ではありますが、立派な家庭教育書でもあると思います。この作品は、全十一節で構成されていて、私のお気に入りここに紹介した第一節です。第二節はお母さん、そして友達、特別支援学級の子と広がり、第十一節がまとめとなっています。私が小学校の校長であった時には、入学式の話の中で必ず読んで聞かせました。卒業式では、この第一節と第十節を読んだこともありましたが、第十節では「こうして、わたしの中へ 遠い国の人々が入ってきた。」と締めくくられています。

子どもの一人一人の環境は多様です。誰にも弟や妹がいるわけではありません。でも、自分の目の前にいるこの子が視野を広げ心も広い子に育つことを、私たちは願っているのではないのでしょうか。この本は、幼児や低学年が読むには少し難しい図書です。まず、子育てにあたる大人の人に読んでほしいと思います。例えば、皆さんはこの第一節を読んでどう感じられたのでしょうか。子どもに読んで聞かせるとしたら、どんな気持ちで読んで聞かせようと思われたのでしょうか。本の中の主人公の親さんは、この主人公にどうかかわっておられたのでしょうか。まず、大人が感じ、考え、自分自身を見つめ、自分自身の生き方を正そうとすることがあると思います。それが大切だと思います。そういう意味で、家庭この本が一冊あるとよいと思っています。子どもの成長とともに読み聞かせ部分を増やしていくのもよいのではないのでしょうか。

こういう本は他にも多くあると思いますので、是非、図書館や本屋さんで見つけてみてください。

わたしは 小さいとき、  
おやつのおかしが、  
弟より大きくないと おこった。  
ときには、  
ひっくりかえり、  
足をばたばたさせて、  
わめいたこともある。  
わたしが 世界のすべてであった。  
わたしが 世界のすべてであった。

やがて わたしは、  
弟も わたしと同じように、  
大きいおかしを ほしがっていることが、  
わかってきた。

わたしは けんかしながらも、  
同じように 分けることを おぼえた。  
ときには、  
弟が あまりにうまそうにたべているので、  
わたしのぶんも、  
わけてやった。  
弟といっしょに おやつをたべると、  
分量の へることもあるが、  
なんとなく たのしい。  
こうして いつのまにか、  
わたしの中へ 弟が入ってきた。  
わたしの中へ 弟が入ってきた。

## 2016 年度を振り返って

今年度も、嬉しい出会いや大勢の方との出会いがありました。たくさんの皆さんの笑顔を紹介したいと思います。(紙面の写真の大きさ鮮明さには限りがありますが、ラ・ルーラ内には拡大して掲示してあります。どうぞご覧ください。)

### はる



#### 赤ちゃんサロン

赤ちゃん(0歳児)とお母さんと一緒に過ごすおしゃべりサロン。身近な物でおもちゃも作って楽しみました。

学びの森でお弁当



学内散歩



「コーディネーショントレーニング」

平井博史教育学部教授



#### みんなで遊ぼう(毎月1回)

親子で遊びながらも友達が意識出来るようなプログラムにし、今年は戸外遊びや小麦粉粘土遊びなど幅も広げました。

#### 子育て実践プログラム

学内各分野の専門家が講義や講座を開催しました。



小麦粉粘土



木の実探し



「お絵かき遊びをしよう！」

森谷蓮教育学部教授



「リトミック体験で子どもの“いいとこの芽” 見つけ」  
杉山祐子短期大学部教授

#### お母さんのためのリフレッシュ講座(毎月1回)

趣味の講座です。ここ数年手の込んだ作品に挑戦するママが増え、今年も巾着や帽子など時間をかけて仕上げました。子育ての合間のすき間時間を利用しての作業は充実感や達成感そして仲間作りへと広がりました。



### なつ



#### 水遊び・砂遊び

戸外のデッキで砂遊びや水遊びを楽しみました。砂遊びは人気で天気の良い日は冬でも大賑わいでした。

#### 畑の野菜の収穫

春は玉ねぎ、夏はトマトやオクラにピーマン、秋はサツマイモの収穫をしました。



サツマイモ掘り

#### 作って遊ぼう!(毎月1回) 製作コーナー

テーマ(飛行機・指人形・けん玉など)を決めて作って遊ぶおもちゃを作ったり、廃材ボックスから好きな物を使って自由に製作を楽しみました。



# あき



## 避難訓練

各務原キャンパス全体で行った避難訓練に参加し、ママと一緒に消火器消化も体験しました。



## ママと遊ぼう (毎月1回)

親子遊びを中心に、じっくりいろいろな遊びを体験しました。



## 学生のかかわり

実習やゼミ単位など授業の他にも子どもたちやお母さん方とかかわりを持ちました。



# ふゆ

## お話の時間(毎日 11 時頃) 移動図書館 (毎月 1 回)

毎日のお話の時間に加え、大学図書館より司書による本の紹介や学生による読み聞かせもありました。



## 学生による学内発表会

教育学部 2 年「保育内容演習 VB (音楽表現)」の授業にてオペレッタやマリンバなどの楽器演奏の学内発表会を毎回見に行きました。



## 誕生会 (毎月 4 回)

当月生まれのお子さんをみんなでお祝いしました。毎回、吹奏学部の生演奏でハッピーバースデーの歌と手作りプレゼントが花を添えました。



ハロウィン



クリスマス会

## ランチタイムコンサート (毎月 4 回)

吹奏学部有志(教育学部学生)による生演奏。毎回趣向を凝らし、打楽器を持って一緒に演奏したりして音楽を楽しむ楽しい時間となりました。

## 季節の催し

ハロウィン・クリスマス・節分など学生主催の催しも数多く開催しました。

節分 (鬼退治)



＜ラ・ルーラ開設日＞火・水・木・金・土曜日（時間 10:00～16:00）



催しがあるときも ラ・ルーラ内では自由に遊べます。

4 月の予定						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6 ママと遊ぼう 11:00～11:45	7	8 作って遊ぼう 11:00～
9	10	11 11:00頃～ お母さんのための リフレッシュ講座	12	13	14 移動図書館 11:00～	15
16	17	18	19 みんなで遊ぼう 11:00～11:45	20	21	22
23	24	25	26	27 赤ちゃん集まれ 11:00～11:45	28 4月の誕生会 12:40～13:00	29
30						

来年度の各催しの日時や内容は、授業との兼ね合いや、  
更により良い内容にと考え見直しも含め検討しております。  
変更などの詳しい内容は、3月下旬頃にラ・ルーラ室内及びHPにてお知らせします。  
お気軽にお問い合わせください。（TEL058-375-3605）



今年も大勢の皆さんとの様々な出会いがありました。  
何でもないおしゃべりがきっかけになったり  
催しで一緒に活動する中で友だち仲間が出来たり  
繋がりも広がりました。

これからもひとつひとつの出会いを大切にしながら繋がりを深め  
皆さんと一緒に歩めるラ・ルーラでありたいと思っています。

元気に一緒に過ごせることの幸せを感じ  
皆様に感謝すると共に  
来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

